

オープンキャンパス報告

夏休み期間中に実施した高校生対象のオープンキャンパスは、2008年度も全体で2万人以上の来場者がありました。当日は、文系学部希望者は多摩キャンパス、理工学部希望者は後樂園キャンパスにて、総合ガイダンスや学部・学科ガイダンス、模擬授業や相談コーナーで、大学のカリキュラムや学生生活、課外活動や将来の進路等について、一日たっぷり“中央大学の魅力”を堪能していただきました。

また、キャンパスごとに特化したプログラムとしては、多摩キャンパスでは、広いキャンパスを約1時間かけて案内するキャンパスツアーや学生演舞、学生企画イベントを実施、理工学部が所属する後樂園キャンパスでは、80以上の研究室を公開し、多様な実験施設見学や研究の中身について在学生から直接レクチャーを受けるなど、参加者は充実した時間を過ごせたようです。

その他、参加者全員へのプレゼントとして、「全7色のミニストラップペン」や「うちわ」などを、アンケート回答者には合格祈願グッズ「サクラサクノート」と「クリアファイル」を差し上げました。

毎年、数多くの志願に結びつくオープンキャンパスは、いまや大学選びの大切なポイントです。

今後も、“中央大学の魅力”を多数の高校生に伝えられるよう、いっそう充実したイベントにして参ります。



模擬授業では体験のみならず、講義内容に興味をもつ受験生が多かった



相談コーナーでは、学生アドバイザーの対応に満足の声があがる



広大な多摩キャンパスを、学生ツアーコンダクターが案内。それぞれに工夫をこらしたツアーは好評